

# Domaine des Sonnettes (Sonshine Vins)

サヴォワ地方  
ドメヌ・デ・ソネット  
(ソンシャイン・ヴァン)

## サヴォワでオランダ女性醸造家が造る身体に染み入るテイスト

オランダ出身のリザヌ・ヴァン・ソンはオランダ、ベルギー、イギリス、モンレイでソムリエとして働いてきました。トゥール出身でアランデュカス・グループのレストランでシェフを務めてきたベンジャミン・セレルと共に、リザヌは初めてのワイナリー「ソンセール・ヴァン」を手がけました。

出会いは2019年2月開催のDive Bouteille。すでにお付き合いがあるロワールの生産者はありがたい事に昔から相当数いらっしゃるのですが、ロワールブースエリアはいつもなじみの生産者への挨拶と試飲で終わっていましたが、この年は知り合いの生産者から「ここはいいぞ！彼女はすごくパワフルだから！」と強引に連れていかれその可能性に惚れてしまったのです。

初訪問は2020年の1月下旬です。

リザヌがワイン造りを志し初めてロワールに来たのは2013年、トゥーレーヌのノエラ・モランタンとここで働くためでした。その後、自分自身のワイン造りを始めた後も週に数回は手伝いに行っていました。

その後、リザヌはワイン造りを体系的に学ぶためにアンボワーズの醸造学校へ進み、そこでベンジャミンと出会います。二人は意気投合。将来、ともにワインを造ろうと、卒業後、彼女はモンレイ・シュール・ロワールの生産者のもとで修業をつみ、ベンジャミンはヴーヴレイの生産者のもとをいくつか回り修業を始めます。

“Sonser Vins”は二人の苗字を組み合わせて作った造語です。

修業を積みながらも二人は2016年からプロジェクトの準備を始め、非公式ながらもいくつかのキュヴェを仕込んでいきます。この時期、彼女はオランダ、ベルギー、ロワールを行ったり来たりしながら昼間は他の生産者の畑や醸造所で働き、夜はモンレイのワインバーで働いたり忙しい修業時代を乗り越えていき、2017年によりやくロワールに定住します。



アンボワーズとモンレイ・シュール・ロワールの間あたりのヴーヴレイ側(ロワール川右岸)のノワゼという村にシエはあります。石灰でできた崖に通路や階段が造られており、いくつもの小部屋や家ができており、その中の一つの奥行きある洞窟を借り、シエとして使用して使用していました。

発足時からずっと畑を持つことができなかったため、2018年にロワールとアルザスの買いブドウを使って4つのキュヴェをつくります。これが初ヴィンテージとなります。

もちろん選ぶのはピオのブドウで、収穫から自分たちで行いました。自然酵母での発酵はもちろん、酸化防止剤の添加もごく少量もしくは無添加、濾過や清澄はワインを見極めながら判断していきます。

初ヴィンテージ2018年の生産量は約15,000本。

リザヌは自らの畑を持たないことを逆手に取り、1月・2月にワインの発酵が落ち着くと、南半球のオーストラリアに飛び出します。なんと南半球でもワインを造っているのです。収穫から自ら畑に入りブドウを収穫、自らのキュヴェを仕込んでいます。すでに数ヴィンテージお世話になっている醸造所は、あのヤウマの醸造所を間借りしております。ブドウは、ジェームズ・アースキンも自らのワインによく使うマクラレーンヴェールのフィオナ・ウッドのものを使用しています。このキュヴェも非常に興味深いですが、これはオーストラリアのみの販売だそうです。

残念なことに、2019年の収穫後、ベンジャミンとはお互い別々の道を行くことにしたようで、これを機にネゴシアン名を“Sonshine Vins”に改名します。2020年の訪問時、迎えてくれたのはリザヌ一人でした。しかし、彼女は寂しさを微塵も感じさせず、澀刺とした笑顔とテキパキとした動き、周到な準備、完璧な段取りでタンクやボトルから試飲をさせてくれます。同時に、ワインや自らについても語ってくれました。疲れている僕らに手作りのデザートも用意してくれる優しさや心配りは体に染み入るのももちろん心にグツとくるものがありました。そのエネルギーと優しさから、トゥーレーヌにも似たような女性がいたなあと。。。

(2023年6月追記)

そして、リザヌは新しいパートナーを得て彼と共に幸運にも2021年にサヴォワに畑とカーヴを購入することができました。畑は4haでシャルドネ、ガメイ、プルサル、ピノワールが植わっております。前の畑の所有者は、除草剤は年に一度撒くほどでしたが畑は無農薬ではありませんでしたので、購入直後から畑を無農薬へ転換中です。

ドメヌ名は、Domaine de Sonnette(ドメヌ・ド・ソネット)。

初VTGにあたる2021年は、フランス全土で遅霜やミルデューの被害がひどかった年。

購入当時の畑が荒れていたこともあり、彼女たちも残念ながら全体で400Lの収量しか得ることができず、ドメヌ物の初VTGは全てのブドウを使いペティアン1種類を仕込みました。生産本数わずか1,700本程でした。

そして気になるのは、これまで続けてきたアルザスとロワールの買いブドウでのネゴスもの今後ですが、もちろん継続いたします。

2021VTGより醸造場所もサヴォワに移して仕込まれました。

ネゴス物のワインの品質とキャラクターも毎年確実に輝いてきておりましたが(今回リリースするネゴス物にもよく表れています)、その経験が今後は畑づくり、ブドウづくりから自分達の手で行うドメヌ物にも生かされる事が期待されます。

というより、皆が大好きな4品種の個性とサヴォワのテロワールを活かした、彼女らしいワインの出来上がり確信しております。

リザヌと新しいパートナー、人気のサヴォワ地域に小さいながらも輝く新生産者の登場です。

*Diony*

**[35679] Petillant Naturel Hasta la Vizsla ペティアン ナチュレル アスタ・ラ・ヴィズラ21**

呼称	VdF ヴァン・ド・フランス		
参考小売	¥3,800		
規格/タイプ	750ml×12 / 白微泡・辛口		
栽培/認証	ビオディナミ/デメテール		
テロワール	土壌	標高・向き	収量
	花崗岩 粘土 石灰岩	ComingSoon	35hl/ha
品種(収穫/樹齢)	リースリング50% ピノグリ25% オーセロワ25% (手摘み/15~50年)		
醸造 酵母	自生酵母		
発酵 熟成	9月20~26日収穫/空気圧式圧搾(リースリングのみゆっくりプレス) グラスファイバータンクで発酵/糖が残った状態で2021年10月22日瓶詰め 16ヶ月間瓶内発酵・熟成(リムーアージュ1回) デゴルジュマン:2023年2月/無濾過・無清澄		
SO <sub>2</sub>	無添加 トータル:0mg/L		
ガス圧	4.9気圧		
アルコール度	12%		
特徴	買いブドウの3品種をプレスしステンレスタンクで発酵、10月下旬に糖が残った状態で瓶詰めし23年2月にデゴルジュマンしました。クリアなグリーンイエロー色、細かな泡立ち、カボスやライム、黄色リンゴのフレッシュな香りを感じます。クリーミーで軽快な泡にリンゴの酸味とスッキリ爽やかな味わいが心地よく、シャープなアフターを楽しめる逸品です。		



**[36106] Rose Petillant Gros Pif ロゼ ペティアン グロ ピフ22**

呼称	VdF ヴァン・ド・フランス		
参考小売	¥4,000		
規格/タイプ	750ml×12 / ロゼ微泡・辛口		
栽培/認証	- / -		
テロワール	土壌	標高・向き	面積
	粘土石灰	400m・南東(急斜面)	4ha
品種(収穫/樹齢)	ガメイ、ピノワール、ブルサール、シャルドネ(手摘み/15~90年)		
醸造 酵母	自生酵母		
発酵 熟成	空気圧式圧搾 グラスファイバータンクで発酵 糖が残った状態で瓶詰め 瓶内発酵・熟成/無濾過・無清澄		
SO <sub>2</sub>	無添加 トータル:5mg/L未滿		
ガス圧	3.7気圧		
アルコール度	12.5%		
特徴	サヴォワのドメーヌ・ド・ソネット、粘土石灰土壌で育つ4品種をプレス、グラスファイバータンクで発酵後、糖が残った状態でサンスフルで瓶詰めしました。細かくクリーミーな泡、明るいサーモンピンク色、摘みたてイチゴ、クランベリージャムやフローラルなバラ香、柔らかいクリーミーな泡ですが活力があり、摘みたてイチゴの酸味と果実味が風味よく、余韻もイチゴのニュアンスを感じます。		



**[35680] Blanksia ブランクシア21**

呼称	VdF ヴァン・ド・フランス		
参考小売	¥3,800		
規格/タイプ	750ml×12 / 白・辛口		
栽培/認証	ビオロジック/エコセール		
テロワール	土壌	標高	面積・収量
	石灰	ComingSoon	2ha・50hl/ha
品種(収穫/樹齢)	コロンバル100% (手摘み/平均20年) (GERS産)		
醸造 酵母	自生酵母		
発酵 熟成	水平式圧搾機でプレス 15hlのグラスファイバータンクで発酵・マロラクティック発酵・熟成 無濾過・無清澄		
SO <sub>2</sub>	収穫後:15mg/L トータル:44mg/L		
アルコール度	12.6%		
特徴	ブランクシアとはオーストラリア原産の花です。石灰土壌で育ったGers産コロンバルをプレス後グラスファイバータンクで発酵・熟成しました。緑を帯びた淡いイエローの外観、ライムや二十世紀梨、ディル、ミント、オレンジの香り、心地の良い酸味がありジュシーで果実味とシャープな味わい、中程度のボリュームで後半に果実味が増していきます。		



**[36105] Globe グローブ21**

呼称	VdF ヴァン・ド・フランス		
参考小売	¥4,000		
規格/タイプ	750ml×12 / 白・辛口		
栽培/認証	ビオロジック / -		
テロワール	土壌	標高	収量
	粘土石灰 シスト 石灰	ComingSoon	30hl/ha
品種(収穫/樹齢)	シュナンブラン100% (手摘み/ ComingSoon)		
醸造 酵母	自生酵母		
発酵 熟成	垂直式圧搾 グラスファイバータンクで発酵・熟成 無濾過・無清澄		
SO <sub>2</sub>	瓶詰め前:1mg/L トータル:11mg/L未滿		
アルコール度	12%		
特徴	世界一周ヨットレースのヴァンデ・グローブにちなんで名づけたキュヴェでモンレイ、ヴァーヴレイ、アンジュールから購入したシュナンブランをプレス、グラスファイバータンクで発酵・熟成しました。濃いグリーンイエロー色、香り立ち強く、白桃やアプリコット、カシューナッツ、オレンジピールの香り、ボリュームあるアタック、エキスが詰まったコク旨な果実味が完熟した柑橘の甘やかさともしっかりと拡がります。		



**[36229] Petal ペタル22**

呼称	VdF ヴァン・ド・フランス		
参考小売	¥3,900		
規格/タイプ	750ml×12 / 赤・ミディアム		
栽培/認証	ビオロジック ビオディナミ / -		
テロワール	土壌	標高	収量
	粘土 砂	ComingSoon	40hl/ha
品種(収穫/樹齢)	グローグーグリ(アンジュール) ミュスカルージュ(アルザス) (手摘み/20~40年)		
醸造 酵母	自生酵母		
発酵 熟成	グローグーグリは全房で醸し空気圧式圧搾、グラスファイバータンクで発酵・熟成 ミュスカルージュは直接圧搾後、グラスファイバータンクで発酵・熟成 アッサンブラージュし熟成/無濾過・無清澄		
SO <sub>2</sub>	無添加 トータル:11mg/L未滿		
アルコール度	11%		
特徴	アンジュールから購入したグローグーグリは全房で醸し後グラスファイバータンクで発酵・熟成、アルザスから購入したミュスカルージュは直接圧搾しステンレスタンクで発酵・熟成、アッサンブラージュし熟成しました。透明感のある淡い紫ルビー色、イチゴやクランベリー、バラ、スミレの香り、果実味豊かで口中にジュシーな味わいが広がる心地よさ、程よい中程度の酸味とバランスよく上品なタンニンが光ります。		



酸化防止剤無添加の商品はお取り扱いにご注意ください(基本的に15度以下の保存をお願いします)

